

TECHNICAL INFORMATION

UNION CHEMICAL CO.,LTD

〒101-0047 16-5-1 UCHIKANDA CHIYODA-KU TOKYO JAPAN

TEL:(03)3292-4171

アルデヒド用消臭剤

エアクレンス FC-HA010D

【 特 長 】

エアクレンスFC-HA010Dは、FC-HA010の耐フォギング性を改良したものです。本品は無機塩類を主剤とし、グアニジン系化合物を配合した水溶液で、アルデヒド類を対象とした消臭剤です。

- 1) 本消臭剤は、無機塩類とグアニジン系化合物との相乗効果により、酸性下の基で優れたアルデヒド消臭効果をもたらします。また反応形態は、付加反応がメインである。
- 2) 比較的耐熱性の高い成分で構成されておりますので、通常レベルの加工条件では性能を維持しております。尚、耐熱性は190℃前後である。
- 3) 安全性の高い成分で構成されております。

【 性 状 】

- ◇ 成 分 : 無機塩類、グアニジン系化合物、ノオン系界面活性剤(浸透剤)、pH調整剤、純水
- ◇ 外 観 : 無色～淡黄色透明液体
- ◇ 臭 い : 微臭
- ◇ PH : 6.5 ± 1.0 (25℃)
- ◇ 固形分 : 16.0 ± 1.0 %

【 用 途 】

- : 消臭剤原液又は希釈した水溶液を基材にスプレー塗布するか、ディッピング処理する。
- : 消臭剤原液を水溶性バインダーに添加してフィルム化する。

【消臭性能】

: アセトアルデヒド消臭性能結果

1) 試験体の作製

消臭剤の原液を純水で20%に希釈し、これを25cm²の口紙に60μl塗布した後、85℃の熱風で2分間乾燥させたものを試験体とする。

2) 試験方法

1Lのガラス容器に試験体を入れ、さらに所定濃度のアルデヒド水溶液を所定量滴下した後密閉し、90分経過後の残存ガス濃度を検知管にて測定する。

3) 試験結果

試験体	残存ガス濃度 (ppm)
	アセトアルデヒド
空ブランク	120
FC-H88P	12
FC-HA010	6
FC-HA010D	3.5

【耐フォギング性】 : 弊社簡易フォギング試験方法にて確認。

評価基準	HA010	HA010D
○△×	△	○ [△]
5-1	3-3.7	4.7

【耐フォギング性】

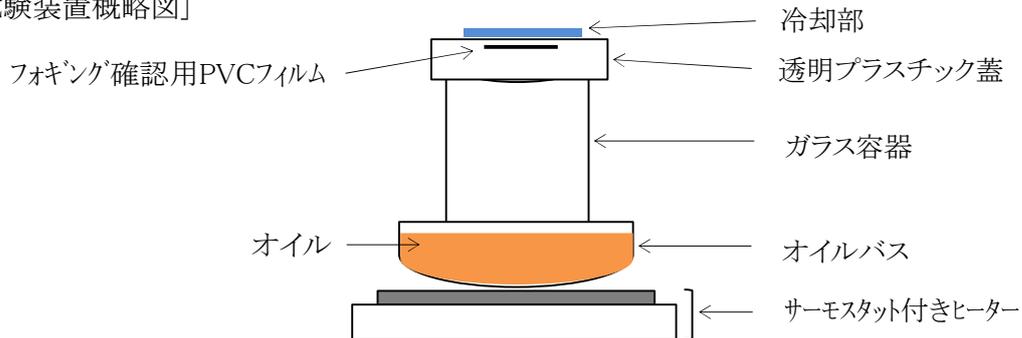
1) 試験体の作製

消臭剤の原液を5cm×6cmの口紙に100 μ l塗布した後、85 $^{\circ}$ Cの熱風で3分間乾燥させたものを試験体とする。

2) 簡易試験方法

- 100 $^{\circ}$ Cに加熱したオイルバスに、高さ150mm、上部の開口部(上口部)が直径70mmのガラス容器を下部がオイルバスのオイルに35mm程度沈むように設置する。
- 次に透明なプラスチックの円形蓋の内側に、45mm×45mmの透明なPVCフィルム(50 μ)を張り付けた後ガラス容器の上口部分に設置する。
- 前記円形蓋の上部には「冷却部」として不織布をのせ、さらにその上には蓄冷剤を載せてプラスチックの円形蓋上部が約10 $^{\circ}$ Cに保持されるよう冷却する。※不織布の厚み:約0.5mm
- オイルの温度を100 $^{\circ}$ Cに、冷却部を10 $^{\circ}$ Cに保ちながら3時間後の「フォギング確認用PVCフィルム」の曇り状態を確認する。

[試験装置概略図]



3) 試験結果

試験体	判定	判定基準
FC-HA010	△	○: 付着物が無く透明 △: 付着物で曇りがややある
FC-HA010D	○△	×: 付着物が多く曇りで先が見えない